

Numbering code		U-LAS22 10003 SO48			
Course title <English>	フランス語 I (8 H コース) F1301 Primary French		Affiliated department, Job title, Name	Graduate School of Human and Environmental Studies Visiting Lecturer, Evelyne Mesnil Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, TAGA SHIGERU	
Group	Languages		Field(Classification)		
Language	Japanese and French		Old group	Group C	Number of credits 16
Number of weekly time blocks	4	Class style	Seminar (Foreign language)		Course offered year/period 2019・Year-round
Day/period	Mon.5・Tue.5・Wed.5 ・Thu.4		Target year	All students	Eligible students For all majors

[Outline and Purpose of the Course]

LL教室を用い、フランスで開発された教科書を使って、日本人教員とフランス人教員が連携して授業に当たり、コミュニケーション能力の習得に重点を置いたフランス語学習を行なう週4回授業の初級インテンシブ・コースである。レベルは初級で、全学部・全回生の学生が履修できる。1回生は自分のクラスにクラス別コースが割り当てられていても、8時間コースを選択すればクラス別コースに出席する必要はない。半期制のクラス別コースとは異なり、1年間で単位が出る通年制で、16単位が取得できる。ただし、週4回出席することが必須で、2回だけというような部分的受講はできない。単位も部分的に与えられることはない。8時間コースは中級6時間コースに接続しており、両方を受講すれば2年間通して、連続した効果的な学習ができる。

[Course Goals]

このインテンシブ・コースは、特にフランス語に力を入れて勉強しようとする人向けのクラスである。週に2回授業のクラス別コースに比べて、聴く・話すというコミュニケーション能力の開発に重点を置いた授業を行なう。また教室での聞き取り練習や会話練習などを通じて、日常的なフランス語の運用能力を身につける。

[Course Schedule and Contents]

フランスで制作された視聴覚教材を用いて、日本人教員とフランス人教員がリレー形式で授業をする。次のような項目について、各課8回程度の授業を行ない、各課ごとにテストを行なう。

第1課 自己紹介、肯定文・否定文・疑問文、第1群規則動詞、定冠詞、名詞の複数形

第2課 不定冠詞、動詞avoirとêtre、所有形容詞、疑問詞qui, que

第3課 疑問詞 quand, ou、動詞の命令形、不規則動詞 aller

第4課 部分冠詞、不規則動詞 venir, boire、疑問形容詞 quel

第5課 不規則動詞faire、複合過去(1)

第6課 指示形容詞、第2群規則動詞、数量副詞

第7課 複合過去(2)、動詞partir, vouloir, devoir

第8課 疑問詞pourquoi、理由の表現、国名と前置詞

第9課 直接目的格補語人称代名詞、比較級

第10課 間接目的格補語人称代名詞、不規則動詞 écrire、近接過去

第11課 単純未来、不規則動詞savoir

第12課 命令形、半過去、il y a、不規則動詞connaître

第13課 代名動詞、近接過去、関係代名詞qui

フランス語Ⅰ（8Hコース）F1301(2)

[Class requirement]

Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".

[Method, Point of view, and Attainment levels of Evaluation]

各課の終わりに実施するテストの成績を集積して、平常点によって判定する。学期末試験は行わない。成績評価基準の詳細については、授業中に指示する。

[Textbook]

M.Kanema-Pougatch 『Café Crème 1』 (Hachette) ISBN:978-2011550163
京都大学フランス語教室編 『新初等フランス語教本文法編 5訂版』 (白水社) ISBN:978-4-560-06091-9

[Regarding studies out of class (preparation and review)]

新たに進む課の単語を調べたり、授業で学んだ動詞の活用や表現などを繰り返し練習するなど、授業前の予習と授業後の復習が必要である。

[Others (office hour, etc.)]

新年度の第1回目の授業で、授業内容を説明するガイダンスを行なうので、KULASISの掲示に注意すること。